

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成30年4月1日～ 令和4年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉市公民館
条例上の設置目的	千葉市公民館設置管理条例(昭和44年千葉市条例第23号) 第1条 この条例は、社会教育法(昭和24年法律第207号。以下「法」という。)第24条の規定に基づき、公民館の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。 (参考) 社会教育法(昭和24年6月10日法律第207号) 第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。 第24条 市町村が公民館を設置しようとするときは、条例で、公民館の設置及び管理に関する事項を定めなければならない。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	地域住民の生活文化向上をめざし、市民一人ひとりが豊かな人間性を培い、心豊かなまちづくりを進め、「社会が人を育み、人が社会をつくる」という好循環を目指していく。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	地域のニーズに対応した社会教育事業の実施や施設の貸出を行う。 社会教育施設としての機能向上はもちろんのこと、幅広い市民の多様な利用に供する地域の総合交流拠点として充実を図る。
制度導入により見込まれる効果	市民サービスの向上により、さらに多くの市民に施設を利用してもらおうという効果を見込んでいる。
指定管理者名	公益財団法人 千葉市教育振興財団
構成団体 (共同事業者の場合)	
指定期間	平成30年4月1日～ 令和5年3月31日(5年)
所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課

2 成果指標等の推移

(1) 主催講座数(成果指標1)

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	合計
実績値	972講座	1,085講座	618講座	1,065講座	3,740講座
数値目標※	1,063講座	1,063講座	1,063講座	1,063講座	4,252講座
達成率	91.4%	102.1%	58.1%	100.2%	88.0%

(2) 公民館の施設稼働率(用途・利用時間に制約が大きい調理室を除く)(成果指標2)

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	平均
実績値	45.8%	46.3%	38.5%	39.0%	42.4%
数値目標※	52.0%	52.0%	52.0%	52.0%	52.0%
達成率	88.1%	89.0%	74.0%	75.0%	81.5%

(3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	○年度	○年度	○年度	○年度	合計

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	合計	
必須業務	指定管理料	実績	1,287,223	1,296,048	1,314,403	1,320,788	5,218,462	
		計画	1,287,223	1,296,963	1,314,403	1,320,788	5,219,377	
	利用料金	実績					0	
		計画					0	
	その他	実績	2,824	2,830	2,184	2,509	10,347	
		計画	2,737	2,740	2,744	2,744	10,965	
	合計	実績	1,290,047	1,298,878	1,316,587	1,323,297	5,228,809	
		計画	1,289,960	1,299,703	1,317,147	1,323,532	5,230,342	
	支出		実績	1,262,044	1,282,416	1,325,927	1,360,670	5,231,057
			計画	1,289,960	1,299,703	1,331,480	1,360,636	5,281,779
収支		実績	28,003	16,462	△ 9,340	△ 37,373	△ 2,248	
自主事業	収入		実績	0	0	99	289	388
			計画	0	0	0	0	0
	支出		実績	114	104	99	289	606
			計画	678	678	829	887	3,072
	収支		実績	△ 114	△ 104	0	0	△ 218
総収入		実績	1,290,047	1,298,878	1,316,686	1,323,586	5,229,197	
総支出		実績	1,262,158	1,282,520	1,326,026	1,360,959	5,231,663	
総収支		実績	27,889	16,358	△ 9,340	△ 37,373	△ 2,466	
利益の還元額		実績						
利益還元の内容								

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	D	<p>【主催講座数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者アンケートによりニーズを把握し、講座数を増加させ、講座運営の工夫改善に努めた。令和2年2月からコロナ対策による休館や利用制限等があったが、令和2年度を除いて概ね目標の講座数を開催できた。 <p>【施設稼働率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート等により、幅広く利用者の意向を把握し、施設設備の機能改善に努めた。令和元年度以降は、コロナ対策による休館や利用制限等があったので、一概に比較はできないが、本市で設定した基準を大幅に下回る結果となった。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	<ul style="list-style-type: none"> ・選定時の提案額からわずかに削減されており、おおむね本市で設定した水準となった。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時には、適切な対応を行った。コロナウイルス感染拡大時にはの感染対策を十分に行い、利用者や講師の安全確保を考慮して運営を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の対策として、マスク着用の徹底や室内の換気、3密の回避の徹底に努めた。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・組織体制は、提案書どおりに配置されていた。 ・職員相互による情報交換を活発に行い、運営ノウハウを蓄積した。また、社会教育主事資格取得のための助成を行い、有資格者を大幅に増加させた。(H29年度：5人⇒R4年度：25人) ・各種研修の実施により、職員の能力向上に努めた。また、生涯学習センターの協力のもと、オンラインでも研修を実施した。 ・図書室では、図書館と連携しながら、図書担当職員を対象とした研修や、各図書室への訪問支援を行い、職員の資質向上及び図書室運営の活性化に努めた。
(2) 施設の維持管理業務	C	<ul style="list-style-type: none"> ・定期保守点検を着実にを行い、快適な利用環境を提供するとともに、事故の防止に努めた。 ・利用者の意見を反映し、施設の修繕・備品の買替え等を積極的に実施した。また、館内の整理整頓にも努めた。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	B	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館情報誌を隔月で発行し、広報活動の強化に努めた。 ・講座や自習室、施設休館・再開などに関する案内をホームページにて迅速かつ速やかに提供した。また、一部の館ではTwitterやFacebookなどのSNSも活用して情報発信した。
(2) 利用者サービスの充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの結果や苦情・要望を検討し、事業の改善に活かした。 ・公衆無線LANを全館全室に設置し、利用者の利便性を向上させるとともに、災害時の情報収集や通信手段として活用できるようにした。 ・子どもの居場所づくりとして、空きのある諸室やロビーを活用して、自習室の開放を行った。
(3) 施設における事業の実施	B	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い学習ニーズに応えるため、関係機関と連携・協力を行い、様々な講座を実施した。生涯学習センターと連携し、令和2年度からはオンラインを活用した講座も実施した。 ・図書室では、各図書室で策定した運営計画に従って蔵書更新や室内の環境改善を進め、図書室の充実に努めた。
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識が必要な場合を除き、市内業者を優先している。 ・職員の市内雇用率は約8割である。

総合評価	C
------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
 D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
 E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月以降、市が施設の利用制限を実施したことにより、成果指標である施設稼働率は目標数値を大幅に下回る結果となったが、それを除いては、概ね市が指定管理者に求める水準等に即した、良好な管理運営が行われた。</p> <p>①社会教育事業 主催講座数(成果指標：平成28年度763講座から300講座講座以上増)は、令和3年度計画が1,236講座、実績が1,065講座となり、新型コロナウイルスの影響もあったが、目標を達成できた。講座の企画にあたっては、幅広い学習ニーズに応えるため、様々な関係機関と連携・協力を行いながら実施した。また、公民館に直接来館することが難しい市民に対しても、学習機会を積極的に提供していくことが求められていることから、講座の内容に応じてオンラインやサテライトにより開催した。</p> <p>②図書室管理運営事業 図書館と連携しながら、各種研修や、各図書室への訪問支援を行い、職員の資質向上に努めた。また、各図書室で運営計画を策定することにより、計画的な図書資料の選定や整備、窓口サービス向上を図った。</p> <p>③施設管理・維持管理業務 施設稼働率(成果指標：52%)は、期間を通して目標数値を下回る結果となったが、新型コロナウイルスが感染拡大となる前は、最高で51%まで上昇することができた。また、施設の利便性を向上のため、利用者アンケートなどの反映による施設修繕や設備更新を積極的に実施し、オンライン学習のためにWi-Fi環境を全館全室に拡充整備した他、避難所運営用の資機材を購入して避難所機能の充実を図るなど、公民館の機能を向上させた。</p>	
--	--

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

特になし	
------	--

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会の意見

<p>市による評価はおおむね妥当であると認める。また、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するという観点から、財務に関する事項で特記するものはないと認める。その他、次の事項を本委員会の意見とする。</p> <p>ア 公民館に配置されているAEDについて、職員がすぐに使用できるように、研修等を受講していただきたい。</p> <p>イ 防犯カメラ及び自動販売機について、一部の公民館に設置されているが、安全性及び災害時の備え等を考慮して、未設置の公民館にも、設置をしていただきたい。</p> <p>ウ コロナ禍の中、オンライン講座などの工夫で充実してきており、引き続き、そのメリットを活かしながら工夫して実施していただきたい。</p>	
---	--